



韓国

NCB 海外レポート

KOREA NOW!!

～待つことに価値がある「OPEN RUN」現象～

◇ はじめに

- ・ 「OPEN RUN」という言葉を耳にしたことはありますか。今回のレポートでは、近年、韓国において社会現象となっている「OPEN RUN」についてご紹介します。

◇ 「OPEN RUN」とは

- ・ 本来「OPEN RUN」とは、演劇等において終演日を決めずに公演を継続することを意味しますが、本稿でご紹介する「OPEN RUN」は、お店が開く前から待ち、開店(OPEN)するやいなやお目当ての品物を購入するために走る(RUN)ことを言う、一種の韓国式英語です。英語では「OPENING RUSH」と言い、日本語では「開店ダッシュ」に相当します。

◇ 単なる購入から経験の重視へ

- ・ この現象は、近年、市場が急拡大したブランド品や、服、スニーカー、アイドルグッズ等のレアグッズを販売する店舗においてよく見受けられます。
- ・ 若者中心にレアグッズの人気は年々高まっており、既存のブランド愛好者らは、購入希望者が店舗へ殺到することで、以前に比べて入店することすら難しくなりました。加えて、高値転売を目的とした購入者も増えており、お目当ての商品が入手できず、愛好者らの間で不満が高まっています。
- ・ 並んで待つことを余り好まない韓国人が、販売数日前から並んで待つという状況は、「OPEN RUN」という新たな言葉が生まれるほど、大きな社会現象となっています。最近では、自分の代わりに行列に並ぶアルバイトを雇うことも珍しくありません。
- ・ SNS上では、希少価値の高い商品を手入手するための情報交換や作戦会議がリアルタイムで行われており、「OPEN RUN」が個人のライフスタイルや価値観を示す一種のステータスとしても認知され、これらの現象に拍車をかける一因となっています。
- ・ 「並んで人気商品を購入する」という行為は、「単純に商品を購入する」という概念を超えて、「社会的・文化的に価値ある経験の一部」として、韓国の若い世代に受け入れられています。



(写真) 博物館限定グッズを求めるファンの列
(2025年8月ソウルにて筆者撮影)

◇ おわりに

- ・ 先日、ソウルで開催された日本人の人気アーティストのポップアップショップでも、「OPEN RUN」現象が見られ、一日1億ウォン(約1,067万円)以上の売上を記録するほどの人気を集めました。
- ・ 今や「OPEN RUN」は、現在の韓国の消費文化を理解する上で重要なキーワードの一つと言えます。
- ・ 今後、韓国で新たなビジネスやサービスを検討する際は、従来のように価格や品質に関するマーケティング調査のみならず、自身にとって価値あるモノ・コトへの投資を惜しまない若い世代(OPEN RUN世代)の囲い込みも重要なポイントとなるかもしれません。

2025年8月作成

西日本シティ銀行国際部 洪承元(ホン・スンウォン)